

```
\documentclass{jsarticle}
\usepackage{booktabs} % 太い横罫線を使う時に必要
\usepackage{colortbl} % 色のついた表を作る時に必要
```

```
\begin{document}
```

```
\title{表}
\author{}
\date{}
\maketitle
```

```
\begin{abstract}
表を作る練習です。
\end{abstract}
```

```
\section{本文}
表を作るには、tabular環境を使います。tabular環境全体を
table環境に入れます。
```

```
\begin{verbatim}
\begin{table}[位置] % 「位置」は、h、t、b、pで指定。
\caption{表の説明}
\centering
\begin{tabular}{列数と寄せ方} % 「列数と寄せ方」は、例えば {lcr}と英字を3つ書くと3列。
%そして、lは左寄せ(left)、cは中央寄せ(center)、rは右寄せ。(right)
項目 & 項目 & … & \\\ %&は、列の区切り。空白に、全角空白を使わないこと!!!!
項目 & 項目 & … & \\
:
項目 & 項目 & … &
\end{tabular}
\end{table}
\end{verbatim}
```

まず、表の形を作ってみよう。

```
\begin{table}[h]
\caption{とりあえず、表}
\centering
\begin{tabular}{lrr}
品目 & 単価(円) & 個数 \\
リンゴ & 100 & 5 \\
みかん & 50 & 10
\end{tabular}
\end{table}
```

```
\vspace{10mm}
```

次に、罫線を入れてみよう。

```
\begin{table}[h]
\caption{罫線付きの表}
\centering
\begin{tabular}{lrr}
\hline
品目 & 単価(円) & 個数 \\
\hline
リンゴ & 100 & 5 \\
みかん & 50 & 10 \\
\hline
\end{tabular}
\end{table}
```

```
\vspace{10mm}
```

次は、縦の罫線も入れてみよう。

```
\begin{table}[h]
\caption{縦横罫線付きの表}
\centering
\begin{tabular}{|l|rr|}
\hline
品目 & 単価(円) & 個数 \\
\hline
\end{tabular}
```

```

        リンゴ & 100      & 5  \\
        みかん & 50      & 10 \\
        \hline
    \end{tabular}
\end{table}

```

```
\vspace{10mm}
```

一時的にいくつかの列をまとめて1列のように扱うには`\verb&\multicolumn&` コマンドを使います。使い方は、`\verb&\multicolumn{まとめる列数}{列の指定}{中身}&`です。

```

\begin{table}[h]
\caption{列をまとめる}
\centering
\begin{tabular}{lcr}
\multicolumn{3}{c}{\textgt{請求書}} \\
\multicolumn{1}{c}{品名} & 数量 & \multicolumn{1}{c}{金額} \\
%品名 & 数量 & 金額 \\
\textit{The \TeX book} & 1 & \$30.00 \\
\textit{\TeX: The Program} & 1 & \$43.00
\end{tabular}
\end{table}

```

罫線を入れよう。`\verb&\hline&` と `\verb&|&` です。

```

\begin{table}[h]
\caption{列をまとめる}
\centering
\begin{tabular}{|l|c|r|} \hline
\multicolumn{3}{|c|}{\textgt{請求書}} \\ \hline
\multicolumn{1}{|c|}{品名} & 数量 & \multicolumn{1}{c|}{金額} \\ \hline
%品名 & 数量 & 金額 \\ \hline
\textit{The \TeX book} & 1 & \$30.00 \\
\textit{\TeX: The Program} & 1 & \$43.00 \\ \hline
\end{tabular}
\end{table}

```

表の行間隔を自分で調整することができます。方法は、改行の`\verb&\&`の後ろに`\verb&[広げるポイント数pt]&`と書きます。例えば、`\verb&\[-4pt]&`と書くと、4ポイント分だけ行間が狭くなります（マイナス4pt）。

```

\begin{table}[h]
\caption{列をまとめる}
\centering
\begin{tabular}{|l|c|r|} \hline
\multicolumn{3}{|c|}{\textgt{請求書}} \\ \hline
\multicolumn{1}{|c|}{品名} & 数量 & \multicolumn{1}{c|}{金額} \\ \hline
%品名 & 数量 & 金額 \\ \hline
\textit{The \TeX book} & 1 & \$30.00 \\ \[-4pt]
\textit{\TeX: The Program} & 1 & \$43.00 \\ \hline
\end{tabular}
\end{table}

```

```
\vspace{10mm}
```

上下の横線を太くする。欧米の表では、縦線を引かず、さらに、上下の横線を太くするのが普通。これをどうやるか、というと、`booktabs`というパッケージを使います`\verb&(^)&`とプリアンブルに`\verb&\usepackage{booktabs}&`と書き、表で線を引くところで、上の線は`\verb&\toprule&`、下の線では`\verb&\bottomrule&`と書きます。表の中の細い線は`\verb&\midrule&`だよ。

```

\begin{table}[h]
\caption{booktabsによる罫線}
\centering
\begin{tabular}{lrr}
\toprule
    品名 & 単価 (円) & 個数 \\
\midrule
    リンゴ & 100 & 5 \\ \[-4pt]
    みかん & 50 & 10 \\
\end{tabular}

```

```
\bottomrule
\end{tabular}
\end{table}
```

```
\vspace{10mm}
```

今度は、表に色をつけてみようね。表に色を付けるには、colortbl  
というパッケージを使います。  
そして、`\verb&\color[色]{明るさ}&`とします。  
例えば、白に近いグレーにするなら、`\verb&\color[gray]{0.8}&`  
とすればよいです。

```
\begin{table}[h]
\centering
\begin{tabular}{|c|}
\hline
\rowcolor[gray]{0.8} 第1の行 \\
\hline
第2の行 \\
\hline
\end{tabular}
\end{table}
```

```
\end{document}
```